

V. 特記事項

1. 宇都宮市創造都市研究センター アントレプレナー研究会の社会貢献活動

同センターは、宇都宮市内の私立4大学（宇都宮共和大学、作新学院大学、帝京大学宇都宮キャンパス、文星芸術大学）および自治体・産業界等との連携により地域振興や地域貢献活動を推進するためのプラットフォームである。「創造都市宇都宮市圏の形成」と「地域を更に振興できる創造的で高度な人材の育成」を図り、地域貢献を行うこと、などをセンターの目的として掲げ、地域社会における貢献活動を行っている。

アントレプレナー研究会は、このセンターに所属する学生研究員によって構成されるグループである。令和3（2021）年度の同研究会では、宇都宮市内中心部を流れる田川を中心とした市街地活性化に関する研究活動を展開した。その一環として地域の人々との連携に基づく社会貢献活動に取り組んだ。主な活動には、以下のものがある。

- 田川沿い（宮の橋から押切橋付近）の遊歩道に堆積した川砂を撤去した。これは川沿いエリアの景観回復とまちづくりを目的とした、市民を含む広い協働に基づく活動であった。〔令和3（2021）年7月18日（日）〕
- 田川にかかる御幸橋の橋脚をスクリーンにして、宇都宮空襲を題材としたメンバー校学生の自主制作映画と立松和原原作のアニメーション「黄ぶな物語」を、市民を対象とした上映会として開催した。〔令和3（2021）年10月2日（土）〕

いずれの活動も、県紙「下野新聞」で大きく取り上げられた。なお、作新学院大学アントレプレナー研究会の活動もある。実績として、「第9回とちぎアントレプレナーコンテスト」最優秀賞受賞、「特許アイデアマッチング2020」最優秀知事賞受賞などがあり、今後も学生の成長につながる地域貢献活動を大学間連携により展開していく。

2. 作新学院大学ローターアクトクラブの社会貢献活動

同クラブは、国際ロータリーの承認を得たクラブで、宇都宮市内のローターアクトクラブとも連携して、学生を中心とした地域貢献活動を展開している団体である。

令和3（2021）年度の同クラブの主な活動には、以下のものがある。

- 宇都宮市中心部のバンバ広場で行われた「提唱アクト3クラブ・バンバ広場共同清掃活動」に参加した。同活動には、宇都宮東ローターアクトクラブや市内の宇都宮商業高校のマーキュリーインターアクトも参加しており、3クラブの交流も行われた。〔令和3（2021）年11月7日（日）〕

同クラブでは、令和3（2021）年12月15日（水）に「ガバナー公式訪問例会」を開催している。例会では、これまでの活動報告を行い、今後の活動について、県内ロータリー関係者との意見交換を行った。

地域の社会貢献活動を通して、幅広い年齢の方々との交流や、クラブの運営の仕組みを学ぶなど、学生生活の充実はもとより、将来役立つ社会人としてのスキルを向上させていけるよう、本学では物心両面での支援を今後も続けていく。